

「瀬戸内海を駆け巡る ふりかけ」を商品化

備後特産品研究会

地元の食材
を生かした商
品の開発を手
掛けている備
後特産品研究
会(福山市御船
町1-13-5・
株中島商店内、
中島基晴会長、
電 084・
9222・4
870、ht:
//nakatak
u.com)は、

かつおぶし、削りぶしなどの
(株)桑田商店(同市南松永町)と、
のりなどの前田海苔(株)(同市水
呑町)の協力を得て実現。
一袋60g390円(希望小売
価格)。中島商店のほか、道の駅
アリストぬまくま(同市沼隈
町)、ともてつバスセンター(同
市鞆町)などで販売中。

のほど、

「特産品を使って食卓に近い
商品を」をコンセプトに、福山
市内海町の「のり」と走島町の
「ちりめん(カタクチイワシの
稚魚)」や、「いりこ」を使った
「瀬戸内海を駆け巡る ふり
かけ」Ⅱ写真Ⅱを商品化した。

